

訪問先③

地元の安全を守る消防団の活動の本拠地!
消防団第6分団詰所



ここは弥富市に16個ある消防団の1つ、第6分団の詰所です。
分団の定員は23名で、弥富市全体で323名の方が消防団員として活躍しています。
毎年、分団対抗で小型ポンプ操法大会などが開催され、団員の方たちは日々さまざまな訓練に取り組んでいます。



分団の詰所の中には小型ポンプ積載車が常備! ほかにも消火用のホースや掲示板など活動の様子が直に感じられるような設備がたくさんありました。

訪問先①

津波・高潮緊急時避難場所
西部保育所



この屋上には、230名の方が避難できます。災害時はさまざまな理由で、最も近い避難場所に避難できないことも考えられるので、避難場所は2、3箇所把握しておきましょう。



この扉の白い部分、実は蹴って破ることができる設計になっています。避難時に門が開いていなかったときは、破って入ってください。

まずは、西部保育所を訪問しました。こちらの建物の屋上は、津波や高潮から逃げるための避難場所になっています。災害時にここへ避難される方は、入所している幼児の避難誘導も手伝いしてあげてくださいね。

訪問先④

津波・高潮緊急時避難場所
南部防災センター



センターの屋上からは名古屋駅も見える!けど...遠くが見えるということは、弥富市は周りより海拔が低い土地が続いているということがわかります。



南部防災センターの入り口ロータリーには簡易トイレ用の下水道が設置されています。専用の器具を取り付けるだけで簡易トイレが完成します!



倉庫



災害用飲料水兼用貯水槽
貯水量は4万リットルあります!



南部防災センターは弥富市で1番大きな防災施設です。簡易トイレや非常食などの備蓄品が置いてあり、防災倉庫だけでなく、災害時は避難場所として活躍します!

訪問先②

津波・高潮緊急時避難場所および市指定避難所
総合福祉センター



次に、総合福祉センターを訪問しました。普段は、市民の憩いの場となっていますが、施設の裏にある防災倉庫には非常食や災害用毛布、救助用のボートが配備されています。

救助用ボートが配備されているのは、海拔が低く浸水の可能性がある弥富市特有の事情が見て取れます。



「市指定避難所」や「津波・高潮緊急時避難場所」は、市ホームページに一覧を掲載しています。お住まいの近くの場所がどこかをチェックしておきましょう!(トップページ>いざという時のために から見られます)

市指定避難所について

<http://www.city.yatomi.lg.jp/kurashi/1000511/1000512/1002690/1000517.html>

津波・高潮緊急時避難場所について

<http://www.city.yatomi.lg.jp/kurashi/1000511/1000512/1002690/1000518.html>

防災施設ツアーを終えて

救助用ボートの配備や津波・高潮避難施設など、海拔が低く、浸水の可能性があるといった、弥富市ならではの課題に対して取り組んでいる市の姿勢を感じる事ができました。皆さんも、非常時に自分や家族が避難する場所を確認したり、非常用持出袋を用意するなど、いざという時のために普段から自分自身でできる備えをしておきましょう。

ささでひといき

避難所にある食料は限られています。最低限避難に必要なものはできるだけ自分自身で用意しましょう!



ちょこっとクイズ?

クイズ①

もし、あなたの周りで大きな災害が起こった時に避難生活をする場合、最初に決めるべきことは?

- ① トイレの場所
- ② 食事の場所
- ③ 寝る場所



クイズ②

ここまで、避難所や避難場所を紹介してきましたが、ズバリ、避難所と避難場所の違いは何?

- ① 実は同じ意味
- ② 滞在期間が違う
- ③ 建物の高さが違う



避難所は避難生活を送る場所、避難場所は緊急時に命を守るための場所

①: ① ②: ② ③: ③

小さなことだけど、とってもためになりますね!

